



2023年3月30日

各 位

会社名 立川ブラインド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 池崎 久也
(コード番号 7989 東証プライム市場)
問合せ先 取締役管理本部長 小野 寿也
(TEL. 03-5484-6142)

サステナビリティ基本方針策定およびマテリアリティ（重要課題）の特定に関するお知らせ

当社は、2023年3月30日開催の取締役会において、サステナビリティ基本方針の策定及びマテリアリティ（重要課題）の特定について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. サステナビリティ基本方針

当社グループのサステナビリティに関する基本的な考え方を示す「サステナビリティ基本方針」を下記の通り策定しました。

サステナビリティ基本方針

タチカワブラインドグループは、事業を通じてE（環境）・S（社会）・G（ガバナンス）に関する重要課題解決に取り組むことにより、グループの継続的な成長と持続可能な地球環境・社会の実現を目指します。

E（環境）

タチカワブラインドグループは、人にも環境にもやさしいものづくりを追求し、事業活動における環境負荷低減を推進いたします。

S（社会）

タチカワブラインドグループは、人々の安心・安全・快適な暮らしや産業社会の発展、都市問題の解決に貢献する各事業を通じて、会社の繁栄と社員個人の幸福が一致する経営を目指します。

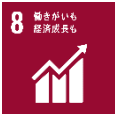
G（ガバナンス）

タチカワブラインドグループは、持続的な成長に向けて、グループガバナンスをさらに強化し、すべてのステークホルダーにとって透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. マテリアリティ（重要課題）の特定

上記のサステナビリティ基本方針を踏まえ、当社グループが取り組むべき6つのマテリアリティを特定しました。

マテリアリティ（重要課題）

ESGテーマ	No.	マテリアリティ	特定の背景	貢献するSDGs
E (環境)	1	事業活動における環境負荷低減	気候変動をはじめとする環境問題が世界的に喫緊の課題となる中、事業活動における環境負荷低減は企業としての責務であると考えています。当社グループでは環境に配慮した製品開発や事業活動におけるCO2排出量削減の取り組みのほか、オーダーメイドを基本とした製造体制により無駄な廃棄物を出さないことを意識しています。今後も持続可能な社会の実現に向けて、事業活動における環境負荷低減を行うことは、当社グループにとっても重要課題の一つと考えています。	     
S (社会)	2	安心・安全・快適で環境に配慮した住空間の提供	当社グループは創業以来、布製や木製のブラインドの販売から歩みはじめ、今日では窓まわりの製品のみならず、間仕切りや電動製品などさまざまなインテリア製品の提供を通じて、人々の暮らしをより快適にする空間づくりの提案を続けてまいりました。時代の変化とともに健康や環境、安全・安心に対する人々の意識がますます高まる中、継続的なマーケティング活動と製品開発強化を行い、常にお客さまに安心・安全・快適で環境に配慮した製品を提供し続けることが、当社グループにとっての重要課題の一つと考えています。	  
	3	働きやすく働きがいのある職場環境の実現	当社グループは経営基本方針の一つに、「会社の繁栄と社員個人の幸福の一致」を掲げており、ものづくりを行うメーカーとして、「人」こそが価値創造の源泉と考えています。そのため、社員の育成や多様性の促進、健康経営の推進といった人的資本に関する取り組みをさらに強化することは当社グループにとって重要課題の一つであると考えています。	  
	4	ステークホルダーとの協働とサプライチェーンマネジメント	当社グループの事業活動は、原料調達から販売に至るまでのサプライチェーン全体において、代理店や取引先をはじめとする多くのステークホルダーの皆様を支えられて成り立っています。原材料の世界的なひっ迫や価格高騰が続く中、ステークホルダーの皆様と協働し、適切なサプライチェーンマネジメントを追求することは重要課題の一つと考えています。	 
	5	技術力を通じた多様な産業と暮らしへの貢献	当社グループの減速機関連事業及び駐車場装置関連事業は、子会社の富士変速機が保有する減速機(ギヤードモータ)の技術力を基盤として、産業分野から暮らしの分野におけるあらゆるお客さまの課題解決に貢献しています。今後も技術力を強みとして、お客さまの理想をカタチにし、産業社会の発展と人々の暮らしに貢献することは重要課題の一つと考えています。	  
G (ガバナンス)	6	持続的成長に向けたガバナンスの充実・強化	当社グループでは、コーポレート・ガバナンスの強化を重要な経営課題と認識し、経営効率を高め、グループ全般の重要事項に関する適切かつ機動的な意思決定に対応できる経営管理組織の充実に努めております。今後も持続的成長に向けて、ガバナンスの充実・強化を図ることは重要課題の一つと考えています。	 